

R7第2回 経営評価委員会

西脇市立西脇病院
経営強化プランの
推進状況
(令和7年度)

令和8年2月26日

目 次

I 令和7年度の収支状況

1	概 況	P 3
2	収支状況	P 4
3	経営指標	P 5
4	主な取組と効果	P 6

II 目標進捗状況

1	基本事項	P 7
2	医療の質の向上	P 8 ~
3	経営資源の強化	P 12 ~
4	職員の確保と意欲向上	P 21 ~
5	再編・ネットワーク化	P 24

I 令和7年度12月末の収支状況

1 概況

1日当たり入院患者数は257.9人（R6年度267.9人）、外来患者数は420.3人（同423.1人）となり、前年度より入院患者数、外来患者数ともに減少した。病床稼働率は80.6%となり、前年度（83.7%）より3.1ポイント低下している。

DPCの入院期間Ⅱを目標にした退院により平均在院日数は短縮（急性期病棟13.0日→12.6日）されたが、脳外科、外科、産婦人科、小児科などの患者数が減少した。

経営コンサル会社の支援を受け、病床管理の適正化や救急受入、リハビリテーションの強化、室料差額の徴収向上、光熱水費の節減など経営改善の取り組みに一定の成果が出たものの、人事院勧告に基づく給与のベースアップや物価高騰などの影響、患者数の減少などにより12月累計の純損益は△5億91百万円の赤字となり、前年度（△5億8百万円）と比較すると83百万円悪化した。

2 収 支 状 況

(単位:百万円)

区 分		R6年度 12月累計	R7年度 12月累計	対前年		
				増 減	比率 (%)	
収 益	総 収 益	6,090	5,902	△188	96.9	
	医 業 収 益	5,487	5,288	△199	96.4	
	うち	入 院 収 益	3,948	3,796	△152	96.1
		外 来 収 益	1,362	1,287	△75	94.5
		そ の 他	177	205	28	115.8
	医 業 外 収 益	591	611	20	103.4	
	特 別 利 益	12	3	△9	25.0	
費 用	総 費 用	6,597	6,493	△104	98.4	
	医 業 費 用	6,475	6,374	△101	98.4	
	うち	職 員 給 与 費	3,359	3,454	95	102.8
		材 料 費	1,436	1,322	△114	92.1
		経 費	1,066	1,152	86	108.1
		減 価 償 却 費	580	417	△163	71.9
		そ の 他	34	29	△5	85.3
	医 業 外 費 用	115	111	△4	96.5	
特 別 損 失	7	8	1	114.3		
差 引	経 常 損 益	△512	△586	△74	114.5	
	純 損 益	△507	△591	△84	116.6	

3 経営指標

区 分		単位	R7年度 目標	R6年度 12月実績	R7年度 12月実績	対前年		評価	
						増減	比率(%)		
業 務 量	患 者 数	1日当たり 入院患者数 (病床稼働率)	人	279.0	267.9	257.9	△10.0	96.3	C
			%	87.2	83.7	80.6	△3.1	—	
		1日当たり 外来患者数	人	470.0	423.1	420.3	△2.8	99.3	C
	診 療 単 価	入 院	円	55,080	53,590	53,536	△54	99.9	C
		外 来	円	18,334	17,302	16,647	△655	96.2	C
		入院・外来収益/月	億円	6.4	5.9	5.6	△0.3	94.9	C
財 務 指 標	経 常 収 支 比 率	%	92.6	92.2	91.0	△1.2	—	C	
	職 員 給 与 費 比 率	%	61.9	61.2	65.3	4.1	—	C	
	材 料 費 比 率	%	23.3	26.2	25.0	△1.2	—	C	
	経 費 比 率	%	23.4	19.4	21.8	2.4	—	C	

[評価方法 A:実績>目標・前年 B:目標>実績>前年、前年>実績>目標 C:目標・前年>実績]

4 主な取組と効果

- | | | |
|-----------------------------|----------------|----------------|
| 1 リハビリテーション強化 | 4月から取組 | 32,000千円(R7見込) |
| 2 看護職員配置関係加算 | | |
| (1) 看護職員夜間配置加算12対1の1 | | |
| 令和8年3月取得見込 | 500千円(R7見込) | → 年間 8,000千円 |
| (2) 看護補助体制加算25対1(補助者割合5割以上) | | |
| 令和8年2月取得見込 | 1,000千円(R7見込) | → 年間 8,000千円 |
| (3) 夜間 100対1急性期看護補助体制加算 | | |
| 令和8年3月取得見込 | 3,500千円(R7見込) | → 年間 42,000千円 |
| 3 診療録体制管理加算ランクアップ(3→2) | 4月取得 | 3,000千円(R7見込) |
| 4 救急医療管理加算算定強化 | 4月から実施 | 18,000千円(R7見込) |
| 5 室料差額徴収向上 | 4月から取組 | 20,000千円(R7見込) |
| 6 皮膚科夜間診療の実施 | 10月から毎週火曜日・木曜日 | 16時から19時 |
| 7 医師特別勤務手当適正化 | 令和8年度実施に向けて調整中 | |
| 8 LED化への取組 | 切替による電気代削減 | 年間 5,000千円 |

Ⅱ 目標進捗状況

1 基本事項

(1) 今後果たすべき役割		
取組状況	<ul style="list-style-type: none">地域医療支援病院の承認要件を維持新型コロナウイルス感染症対策の徹底及び陽性患者の入院受入れ認定看護師資格の取得に向けた取組臨床研修指導医資格の取得に向けた取組	自己評価
		B
(2) 一般会計繰出金		
取組状況	【一般会計繰出金（見込み）】 <ul style="list-style-type: none">一般会計負担金 1,000百万円 ※総務省繰出基準内（7年度 1,000百万円） 内訳：収益的収入 494百万円、資本的収入 506百万円一般会計補助金 収益的収入 250百万円（6年度 収益的収入 250百万円）	自己評価
		A
(3) 病院と地域の連携		
取組状況	<ul style="list-style-type: none">地域医療検討会への参加・地域医療市民フォーラムでの講演討論会「西脇市の地域医療を守る条例」に対応した普及啓発の強化医師会、薬剤師会、小児医療を守る会、地域医療を支える市民の会、商業連合会等との連携	自己評価
		A

2 医療の質の向上

(1) がん治療の医療体制の構築

主な取組目標	<ul style="list-style-type: none"> a. がん診療連携拠点病院に準じる病院の継続 b. がん相談支援センター機能の充実 c. 病診連携の強化 d. 人間ドックのオプション検査等 e. がん関連認定看護師等の育成 	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> a. 令和7年度から「がん診療連携拠点病院に準じる病院」として、引き続き、手術、化学療法、放射線治療等による集学的治療を継続している。 b. 診断・告知から患者ニーズを把握し、院内職員の連携により早期から積極的な相談支援を行っている c. 内科医が地域の開業医からの診療相談等の電話を直接受ける「内科ホットライン」を運用し、病診連携の強化に努めている。 d. 乳がん検診について、女性スタッフでの対応を継続し、受診の促進に努めている。 e. がん性疼痛看護認定看護師、緩和ケア認定看護師及びがん化学療法看護認定看護師が中心となり、看護師の育成に取り組んでいる。 	自己評価
	C			

主な実績	項目		R6年度実績	R7年度目標	R7年度12月実績	R7年度見込	推進状況
	新入院がん患者数	(人)	1,114	1,100	724	965	C
	放射線治療延患者数	(人)	1,321	1,500	926	1,235	C
	外来化学療法延患者数	(人)	1,329	1,500	886	1,181	C
	3がん(子宮、肺、乳)合計検診	(人)	1,398	1,350	1,052	1,377	B
	高度機器(CT, MRI, RI, マンモ)撮影件数	(件)	22,101	22,500	15,922	21,244	C

2 医療の質の向上

(2) 脳卒中治療の病病、病診連携体制の構築

主な取組目標	a. クリニカルパスの効果的な運用	取組状況	a. クリニカルパスの効率的な運用のため、圏域内の連携病院を増やしていく。	自己評価
	b. 3.0テスラMRIの運用		b. 紹介患者、救急検査の受入に努めている。	C
c. 認定看護師の育成	c. 摂食・嚥下障害看護認定看護師を入院棟に配置し、NSTなどの活動を行っており、脳卒中リハビリ認定看護師を育成している。			
d. 緊急時の積極的な受け入れ	d. 開業医訪問、消防との症例検討会を実施し患者紹介、救急患者の積極的な受け入れを行っている。			

主な実績	項目		R6年度実績	R7年度目標	R7年度12月実績	R7年度見込	推進状況
	パスによる紹介件数	(件)	63	60	21	27	C
	脳卒中(脳外科)入院件数	(件)	312	400	214	285	C
	脳血管治療件数	(件)	88	150	55	73	C

2 医療の質の向上

(3) 幅広い糖尿病治療により選ばれる病院の構築

主な取組目標	<ul style="list-style-type: none"> a. 糖尿病教室 b. 外来や予防指導の充実 c. 糖尿病患者への療養指導 d. 専門知識を持つスタッフの育成 e. 教育入院の受入れ 	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> a. 参加型糖尿病教室を開催した。 b. 「にしわき糖尿病レター」を発刊し、医師会と連携して療養指導を行っている。 c. 外来栄養指導の当日依頼を積極的に受け入れている。 d. 糖尿病療養指導士を中心に、研修に参加している。 e. 関係職員でチームを組んで患者さんの指導を行っている。 	自己評価
	B			

主な実績	項目		R6年度実績	R7年度目標	R7年度12月実績	R7年度見込	推進状況
	入院	透析 (件)	890	900	760	1,013	A
	外来	透析 (件)	6,235	6,000	4,383	5,844	C
	栄養指導件数 (件)		1,768	1,800	1,526	2,036	A
	NST介入件数 (件)		930	1,100	735	944	B

2 医療の質の向上

(4) 資格取得などによる医療提供力の強化

主な取組目標	a. 認定看護師教育課程受講	取組状況	a. 認定看護師の受講には至らなかった。				自己評価
	b. 臨床研修指導医講習受講		b. 小児科医 1 名が講習受講した。				B
主な実績	項 目		R6年度実績	R7年度目標	R7年度12月実績	R7年度見込	推進状況
	資格・認定取得者数	(人)	1	2	1	1	B

3 経営資源の強化

(1) 入院収益の確保

主な取組目標	a. ハイケアユニット入院医療管理料1及び急性期一般入院料2の維持	取組状況	a. 救急患者、紹介患者の安定確保を日々の病床管理における重症度、医療・看護必要度基準の充足と制度管理に努めた。	自己評価 B
	b. 大腿骨頸部骨折の救急患者受入れ早期手術の実施（48時間以内）		b. 多職種連携によるチーム医療の強化、内科医師による介入など受け入れやすい体制を構築して受入れを促進している。	
	c. 施設基準の取得等		c. 看護補助者の確保による急性期看護補助体制加算25対1の上位基準、診療情報データの抽出、管理の体制整備による診療録管理体制加算の上位基準の取得に取り組んだ。	

主な実績	項目		R6年度実績	R7年度目標	R7年度12月実績	R7年度見込	推進状況
		1日平均入院患者数	(人)	270.5	279.0	257.9	269.2
	病床稼働率	(%)	84.5	87.2	80.6	84.1	
	1人1日入院診療単価	(円)	52,876	55,080	53,536	53,945	B
	入院収益(1月当り)	(億円)	4.35	4.67	4.22	4.42	B

3 経営資源の強化

(3) その他収益の確保

主な取組目標	a. 人間ドック受診枠の運用	取組状況	a. 健診枠を柔軟に活用することで、協会けんぽ健診の増加を図るとともに、健診部の直通電話を設置し、利便性の向上に努めている。 [ジャパンマンモグラフィーサンデーを実施し、日曜日に乳がん検診を実施。]	自己評価
	b. オプション検査の追加 c. 特定健診・がん検診の拡充		b. 健診の充実のため受診者からの要望等に基づきオプション検査の追加を検討している。 c. 健診を起点とした患者数確保のため、令和8年度からの特定健診・がん検診の拡充に向けた調整を行った。	B

主な実績	項目		R6年度実績	R7年度目標	R7年度12月実績	R7年度見込	推進状況
	成人病検診	(人)	1,133	1,100	956	1,210	A
	一泊人間ドック	(人)	38	40	22	35	C
	日帰り人間ドック	(人)	555	560	511	630	A
	脳ドック	(人)	161	160	121	151	C
	乳児・新生児健診	(人)	139	200	104	160	B
	妊婦健診	(人)	1,378	1,500	832	1,250	C

3 経営資源の強化

(4) 医療技術部門の取組（ア 薬剤業務）

主な取組目標	<ul style="list-style-type: none"> a. 薬剤師の入院棟配置 b. 抗がん剤調製の100%実施の維持（休日対応含む。） c. 後発医薬品の採用促進 d. 医薬品情報等の情報提供強化 e. チーム医療 f. 安全管理への取組み 	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> a. 全病棟に薬剤師を配置し、病棟薬剤業務の20時間／週を維持している。 b. 抗がん剤調製業務量は、100%実施中。 c. 薬事委員会で後発医薬品への切替を検討し順次切替え、後発品の使用割合は90%台を、カットオフ値も50%以上を維持している。 d. 院内LAN等による情報提供、他部門と共催の勉強会等による情報共有化を強化している。持参薬チェックなど、入院前支援業務に取り組んでいる。 e. 各種認定薬剤師が、積極的にチーム医療に取り組んでいる。 f. 配薬管理が必要な患者の持参薬を一手に引き受け、捌くことで医療安全の向上（重複投与防止など）に取り組んでいる。 	自己評価
	B			

主な実績	項 目		R6年度実績	R7年度目標	R7年度12月実績	R7年度見込	推進状況
	ハイリスク指導件数	(件)	4,357	4,500	3,250	4,333	C
	その他指導件数	(件)	6,326	5,500	4,964	6,619	A

3 経営資源の強化

(4) 医療技術部門の取組（イ 検査業務）

主な取組目標	a. 人材の確保・育成 b. 各科からの検査要求対応 c. チーム医療への参画	取組状況	a. ・細胞検査技師スキルアップ ・各種資格の取得 ・超音波検査担当者の養成 ・個人における業務習熟範囲の拡大 b. ・緊急検査への柔軟な対応、迅速な報告 ・休日の大腿骨頸部骨折検査対応 ・迅速細胞診検査への対応 ・超音波検査予約枠の見直し c. ・感染管理(ICT・AST)、栄養サポート、糖尿病教育、高齢者サポート、臓器移植等への参画	自己評価 C

主な実績	項 目		R6年度実績	R7年度目標	R7年度12月実績	R7年度見込	推進状況
	超音波検査件数	(件)	8,109	9,000	6,069	7,865	C
	肺機能検査件数	(件)	1,816	1,800	1,393	1,815	B
	脳波検査件数	(件)	155	200	94	130	C
	ABI検査件数	(件)	419	500	288	380	C
	心電図検査件数	(件)	9,223	9,200	6,885	8,945	C

3 経営資源の強化

(4) 医療技術部門の取組（ウ 放射線業務）

主な取組目標	a. 3.0テスラMRIの運用 (H26.7月から稼働)	取組状況	a. 地域の医療機関と連携を強化し、紹介患者の受入に積極的に取り組んでいる。感染対策に留意しつつ、救急患者などの緊急検査を迅速にこなせるよう努力している。撮影プロトコルの見直しなどにより、よりよい画像を提供している。	自己評価 B
	b. スタッフの育成		b. 診療放射線技師法改定に伴う告示研修に参加している。認定資格の新規取得と更新に取り組んでいる。新人技師の育成に努めている。	

主な実績	項目				R6年度実績	R7年度目標	R7年度12月実績	R7年度見込	推進状況
	C T 件数	(件)	15,157	15,600	10,866	14,508	C		
M R I 件数	(件)	4,969	5,000	3,659	4,880	C			
R I 件数	(件)	512	450	314	419	C			
マ ン モ 件数	(件)	1,468	1,450	1,063	1,417	C			
ア ン ギ オ 件数	(件)	275	300	170	227	C			
骨 塩 定 量 件数	(件)	1,343	1,300	1,119	1,492	A			
一 般 撮 影 件数	(件)	23,196	23,500	17,415	23,218	B			

3 経営資源の強化

(4) 医療技術部門の取組（エ リハビリテーション業務）

主な取組目標	<ul style="list-style-type: none"> a. 施設基準の維持 b. 充実したリハビリの実施 実施目標 1日1人「18単位」 c. 365日リハビリに向けた体制づくり d. 院内外に向けた啓発活動 e. スタッフの育成 	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> a. 地域包括ケア病棟のリハビリ平均2単位以上を維持、回復リハ病棟入院料3を維持 b. R7.4月～R8.1月の平均取得単位数は17.4単位 c. 継続的な入院リハビリ治療を実施。R7. 10月から休日出勤回数を6回から9回に拡大 d. 地域支援事業(自立支援型地域ケア、フレイル訪問指導、認知症初期検討委員会等)に参画 e. 診療報酬に影響する資格取得や専門性を高めるための講習会や研修会に参加 	自己評価 B
--------	--	------	--	--

主な実績	項目		R6年度実績	R7年度目標	R7年度12月実績	R7年度見込	推進状況
	脳血管疾患リハ単位数	(単位)	40,927	41,500	32,453	43,000	A
廃用症候群リハ単位数	(単位)	19,108	22,500	15,354	20,500	B	
運動器リハ単位数	(単位)	25,781	29,500	25,520	34,000	A	
呼吸器リハ単位数	(単位)	6,849	7,400	6,431	8,500	A	
摂食療法リハ単位数	(単位)	951	1,300	823	1,100	B	
がん患者リハ単位数	(単位)	53	50	53	70	A	

3 経営資源の強化

(5) 地域医療連携への取組

主な取組目標	a. 地域医療支援病院承認要件の維持	取組状況	a. 紹介率の維持に向けて、「内科ホットライン」の運用や広報紙の発行などによる情報発信に努めている。	自己評価
	b. パスによる連携強化		b. 入院早期から対象者へ、リハビリ病院の情報提供や退院調整を行っている。	
	c. 地域医療機関との連携		c. 当地域において、医療提供の役割を果たすため、前方、後方支援をはじめとした病院と地域をつなぐための体制強化に努めている。開業医、事業所等の訪問による意見交換	B
	d. 退院調整の強化		d. 入院前支援を開始したことにより、入退院に関する情報の共有が早期に行えるため、必要な支援につなげることができている。	

主な実績	項目		R6年度実績	R7年度目標	R7年度12月実績	R7年度見込	推進状況
		紹介率	(%)	85.8	80.0	84.2	80.0
	逆紹介率	(%)	87.7	70.0	87.8	70.0	A
	入退院支援加算1	(件)	3,096	3,100	2,698	3,300	A
	介護支援連携指導	(件)	319	319	214	280	C
	退院時共同指導	(件)	76	76	42	50	C

3 経営資源の強化

(6) その他の取組・強化

主な取組目標	<p>〔診療報酬の適切な請求等の強化〕</p> <p>a. 診療報酬請求の精度向上への取組</p> <p>b. 診療報酬査定・返戻の分析及び医師への提言</p>	取組状況	<p>a. 診療報酬改定に伴う情報を院内へ発信している。また、委託業者と精度向上のための課題や問題点について協議し、対応している。</p> <p>b. 査定・返戻の内容を精査し、必要の都度診療科や医師へ確認及びフィードバックを行っている。</p>	自己評価
	<p>〔経費削減〕</p> <p>a. 医薬品、診療材料の値引きの促進</p> <p>b. 効率的な施設運営による光熱水費節減</p>		<p>a. 効率的な値引きを促進している。</p> <p>b. 照明器具のLED化を進めている。</p>	A
	<p>〔その他〕</p> <p>a. 滞納者への職員訪問の継続</p> <p>b. 滞納者に対する再来自動受付機の使用制限による直接受付時の面談実施</p> <p>c. ボランティアの受け入れ</p> <p>d. 看護業務の平均化への取組み</p> <p>e. 手術室2名宅直体制を継続</p>		<p>a. 職員による訪問徴収を実施した。</p> <p>b. 滞納者に対する再来自動受付機の使用制限による直接受付時の面談督促を継続。医業未収金回収業務の一部を外部に依頼した。</p> <p>c. 植栽ボランティアを受け入れている。</p> <p>d. 各部署間の応援体制を継続している。</p> <p>e. 手術室の2名宅直体制をとっている。</p>	

4 職員の確保と意欲向上

(1) 医師確保

主な取組目標	<ul style="list-style-type: none"> a. 公募等積極的な募集 b. 病院見学、病院説明会 c. 院内保育所の有効活用 d. 医師事務作業補助者による医師の事務処理の軽減 	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> a. 西脇病院の魅力アピール、ホームページによる積極的な医師募集及び医師紹介業者への対応を強化している。 b. 病院見学の実施及びオンラインを活用した病院説明会に参加。 c. これまで利用実績があり、受入れ態勢は整っている。 d. 医師事務作業補助者を採用し、医師の事務処理の軽減を図っている。 	自己評価
	A			

主な実績	項 目		R6年度実績	R7年度目標	R7年度12月実績	R7年度見込	推進状況
	医 師 数	(人)	56	55	55	55	A
	研 修 医 数	(人)	12	12	12	12	A

4 職員の確保と意欲向上

(2) 看護師確保

主な取組目標	<ul style="list-style-type: none"> a. 院内保育所の有効活用 b. 修学資金制度の継続実施 c. スキルアップのための研究、研修会への参加支援 d. 確保・離職防止のための改善の検討強化 e. 看護学校へ講師派遣と実習生受入れの充実 f. 中学生のトライやるウィーク及び高校生のインターシップの受入れ 	取組状況	<ul style="list-style-type: none"> a. 院内保育による育児短時間勤務を活用した看護師の早期復帰。 b. 修学資金制度を実施し、看護師等の確保に努めている。 c. 積極的な研修参加の推進と参加支援を継続している。 d. 早出遅出勤務の導入や部署間の応援体制をとっている。 e. 継続して実施している。 f. 随時、受け入れている。 	自己評価
	B			

主な実績	項目		R6年度実績	R7年度目標	R7年度12月実績	R7年度見込	推進状況
	奨学資金貸与者数	(人)	4	8	8	8	A
	年度末正規看護職員数	(人)	233	221	221	220	C

4 職員の確保と意欲向上

(3) 職員の意欲の向上

主な取組目標	a. 職員満足度アンケートの実施 (年2回)	取組状況	a. 年2回(6月・12月)実施した。	自己 評価
	b. モチベーションアップチームの活動継続		b. 職員満足度アンケートの実施、その他の活動内容を引き続き検討している。	<h1>A</h1>
c. 参加しやすい院内研修	c. 計画的に、感染対策研修会・院内研究発表会等を開催している。 動画配信による研修等も実施した。			
d. 院外研修への参加支援	d. 医療技術職や看護職等、各種研修会への参加を支援している。 オンラインによる各種研修会等にも参加している。			
e. 西脇病院フェスタの実施	e. 病院フェスタは開催できなかったが、6年ぶりに院内コンサートを再開した。 約300人の来場があった。			

5 再編・ネットワーク化

取 組 状 況	・医師の派遣	西脇病院から派遣	西脇病院へ派遣	自己 評価
	多可赤十字病院	皮膚科 (H23.1～) 総合診療科 (H27.8～H29.8) 外科 (H27.8～H29.7) 内科 (H31.4～) 乳腺外科 (R2.12～) 整形外科 (R3.4～R3.9)	人工透析 (H29.9～ R2.3)	
	加東市民病院	皮膚科 (H23.4～) 内科内視鏡 (H26.4～H31.3) (R4.4～)	血管外科 (H21.4～)	
	県立丹波医療センター	放射線科 (H20～R4.3)	—	
	公立八鹿病院	麻酔科 (H31.4～R3.6)	—	
	公立豊岡病院	麻酔科 (R元.6～)	—	
	北播磨総合医療センター	—	心臓血管外科 (R元. 10～) 超音波内視鏡 (R元. 12～ R3. 6) リウマチ・膠原病内科 (R3. 6～R8. 3. 31)	
	はりま姫路総合医療センター	—	超音波内視鏡 (R4. 5～)	
・地域医療連携システム「北はりま絆ネット」の本格運用を継続中				

A